

# 震災を乗り越え 復興へ 日本一住みよいまちを目指して



旭市議会議長  
林 俊介

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことに、心からお喜び申し上げますとともに、日ごろより、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年6月の議長就任以来、より身近な議会、開かれた議会の実現を念頭に置き、議会運営に努めてまいりました。初春を迎えて、旭市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

国では、バブル崩壊から続く景気低迷、長期化するデフレ、少子高齢化に伴う人口・労働力減少、国内需要と投資機会の減少などにより、財政赤字の拡大、社会保障制度の持続可能性の低下など、多くの課題をうかがわせています。

さて、近年の地方分権の進展に伴い、住民に身近な市の役割はますます重要になってきております。旭市におきましては、一昨年発生の東日本大震災からの復興計画「心をひとつに 共に進

もう「復興あさひ」をスローガンに一日も早い復興に、議会としても協力し、各種政策を推進してまいります。

また「自立・共生・協働によるまちづくり」を推進するとともに、震災前以上の「日本一住みよいまち旭市」を目指して、議会と致しましても取り組みんでいく所存であります。

市議会は二元代表制の下で、市長、そのほかの執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を保ちながら、市民の皆さまの福祉の向上および市政の発展に寄与していかねばならないと考えております。

議会と致しましては、行政への監視および評価をはじめ独自の政策立案など、議会機能の一層の充実強化に取り組んでまいりました。

なお開かれた議会を目指し、昨年6月の平成24年第2回定例会より、インターネットによる本会議の録画中継を行っています。

今後、さまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分お聴きし、しっかりとした議論を重ねると

ともに、皆さまの期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

新春に臨み、市民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつと致します。

